

第4次上尾市地域福祉計画・第7次上尾市地域福祉活動計画

基本理念（案）について

近年、日本社会においては少子高齢化や人口減少が常態化しています。上尾市では、総人口は緩やかに増えていますが、年少人口の減少と高齢者人口の増加が続いている点は全国の傾向と同様です。世帯類型でみると、核家族世帯や単身世帯、高齢者のみ世帯、生活保護の被保護世帯などが年々増加しており、孤立やひきこもり、育児介護のダブルケアなど、市民の抱える課題は複雑化が進んでいます。加えて昨今の国際情勢に端を発する物価高騰は、特に子育て世帯や低所得世帯、年金受給者の方々の家計を直撃し、最新のアンケート調査では「経済的に生活が苦しい／生活が苦しいと聴くことが増えている」との回答が3割に達しています。また、「犯罪の増加」との回答は、5年間で1.4倍になるなど、日々暮らす上での不安要素も市民の中に広がっています。

一方、度重なる自然災害や、新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、既存の社会システムや地域コミュニティの脆弱性を浮き彫りにしました。東日本大震災は、人々が地域のつながりの重要性を強く認識する契機となりましたが、震災発生から10年余りが経過し、当時の経験・記憶は徐々に鮮明さを失い、地域における人と人とのつながりの希薄化が再び進み始めている様子がみてとれます。

今後5年間の本市の福祉施策の羅針盤となる本計画では、こうした社会情勢の変化や市民が思う日々の生活上の不安や課題を踏まえ、「誰もがつながり支え合って安心して暮らせるまち 上尾」を実現することを基本の理念として、既存の制度やサービスだけでは捉えきれない複雑化・多様化するニーズに対応し、市民、地域団体、事業者、行政が一体となって課題解決に取り組み、市民が「安全」かつ「安心」を実感できる社会を共創していくことを目指します。

基本理念（案） 1

誰もがつながり支え合って 安心して暮らせるまち 上尾 ※現計画の理念を踏襲

【基本理念の考え方】

この理念は、年齢、性別、国籍、障がいの有無などを問わず、すべての人が地域社会の一員として「つながり」を持ち、互いの個性を認め合いながら「支え合う」社会の実現を目指しています。誰一人として取り残さない包括的なネットワークを地域の中に育むことで、誰もが包容力と温もりを感じ、将来にわたって安全・安心に暮らせる持続可能なまち「上尾」を築いていくという、強い意志を込めています。

特に、地域の多様性を認め合う姿勢と、互助を促すネットワークづくりが、この理念の核となります。この理念を基盤として、持続可能な上尾のまちづくりを進めてまいります。また、現行計画の理念を踏襲することで、住民の皆様に親しみやすく、これまでの成果を基盤にさらなる地域福祉の充実を図ることが可能になります。

そして、近年の少子高齢化や社会的孤立といった課題に対応するため、地域全体で支え合う仕組みを強化し、福祉サービスやコミュニケーションの場を幅広く提供することを目指します。このような取り組みを通じて、上尾市は地域福祉のさらなる発展と、誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいくことを明確にしています。

基本理念（案） 2

支え合いと連携で、安心して暮らせるまち 上尾

【基本理念の考え方】

この理念は、市民・地域団体・企業・行政がそれぞれの強みを活かし、互いに手を取り合う「連携」と、日々の暮らしに寄り添う「支え合い」の精神を核としています。地域全体で包摂的なネットワークを築くことで、誰もが孤立することなく、安全・安心を実感しながら心豊かに暮らせる持続可能な都市「上尾」の実現を目指すものです。

その実現には、多様な主体が対等な関係で協力し、福祉の枠を超えた幅広い分野が一体となって持続可能な地域づくりに貢献することが不可欠です。住民同士の草の根的な支え合いはもちろん、地域団体や企業による多様な社会資源の活用、さらには行政が課題を継続的にマネジメントしていく役割も重視します。

また、この理念は、連携の具体性を強調することで、現代の地域福祉課題である孤独や社

会的孤立に対応する枠組みを明確に示します。支え合いの温もりも確保しながら、実効性のある包括的な連携を基盤とした上尾市の未来を描く理念です。

基本理念案 3

地域でつながり・育む、ぬくもりあふれる安心のまち 上尾

【基本理念の考え方】

この理念では、「つながり」と「育む」という言葉に込められた、地域住民の関係性の深さとその継続性を重視しています。地域のなかで互いの顔が見える関係性を作り、その中から自然に生まれる「ぬくもり」を大切にすることで、住民全員に安心感が広がる社会を築くことが目標です。

ここで注目すべきは、「地域」という言葉が示す、住民だけでなく福祉団体、福祉関係事業者、企業、学校、行政など、地域に関わるすべての主体が連携することで生まれる強いつながりです。この理念は、人々の温かな関わりを基盤にした「顔が見える安心感」を最も重視しており、住民が地域福祉に主体的に参加しやすい環境づくりをサポートします。

さらに、この理念では、地域の特性や歴史、文化といった「上尾市ならではの地域資源」を活用しながら、独自の福祉モデルを「育む」ことを意識しています。これにより、市民が心豊かに暮らし続けられる持続可能なまち「上尾」をみんなで作り上げていくという強い決意が込められています。